

みずほCustomer Desk Report 2023/03/17号(As of 2023/03/16)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	133.30
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	132.91	1.0614	140.65	1.2066	0.6618
SYD-NY High	133.82	1.0627	142.00	1.2128	0.6669
SYD-NY Low	131.72	1.0552	139.15	1.2029	0.6612
NY 5:00 PM	133.78	1.0611	142.00	1.2110	0.6658

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,246.55	371.98	日本2年債	▲0.0700%	▲0.0200%
NASDAQ	11,717.28	283.23	日本10年債	0.2800%	▲0.0400%
S&P	3,960.28	68.35	米国2年債	4.1708%	0.2824%
日経平均	27,010.61	▲ 218.87	米国5年債	3.7314%	0.1703%
TOPIX	1,937.10	▲ 23.02	米国10年債	3.5771%	0.1167%
シカゴ日経先物	27,105.00	535.00	独10年債	2.2410%	0.1305%
ロンドンFT	7,410.03	65.58	英10年債	3.4275%	0.1095%
DAX	14,967.10	231.84	豪10年債	3.3470%	▲0.0990%
ハンセン指数	19,203.91	▲ 335.96	USDJPY 1M Vol	12.67%	▲1.25%
上海総合	3,226.89	▲ 36.42	USDJPY 3M Vol	12.85%	▲0.77%
NY金	1,923.00	▲ 8.30	USDJPY 6M Vol	11.71%	▲0.58%
WTI	68.35	0.74	USDJPY 1M 25RR	▲1.80%	Yen Call Over
CRB指数	256.65	2.61	EURJPY 3M Vol	12.99%	▲0.71%
ドルインデックス	104.42	▲ 0.23	EURJPY 6M Vol	11.98%	▲0.66%

東京	東京時間のドル円は132.91レベルでオープン。オープン直後に15日海外時間のスイス大手銀行関連の報道を受けたリスク回避的な流れから、円買いが先行しドル円は132.50まで下落。その後、同行のスイス中銀からの資金調達計画に関するHLを受け米金利が上昇すると、ドル円も追随する形で133円半ば近辺まで上昇したが、その後は値を戻し132.94レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.94レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し結局132.60レベルでNYに渡った。欧州株はスイス大手銀行の急騰を受け上昇。大きなリハウンドにはつながらなかったものの底堅く推移した。ユーロドルは、1.0603レベルでオープン。午後にECB理事会を控え膠着状態で推移し、結局1.0614レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は133円台半ばでスタート。欧米銀行の信用不安関連報道を受け、リスクオフの円買いが進み132.50まで下落する。その後スイス大手銀行の経営危機をスイス中銀が流動性供給するとの発表があり、安心材料となり一時133.49まで反発するも、金融システムへの不安感から再びじり安で推移し132.60レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数並びに失業保険継続受給者数が予想を下回るも、市場は現在広がっている金融不透明感を懸念しドル円への反応は限定的。その後米地銀が売却を含む戦略的選択を模索しているとのヘッドラインが伝わると円買いが加速し131.72まで値下げる。その後複数の米銀行が300億ドルの支援に乗り出す事が発表されると円が売り戻される展開となり、ドル円は133.16まで急伸。午後米株式市場の好転、米長期金利の上昇を受けドル円も底堅く推移を続け133.82まで上昇し、その後133.78レベルでクローズ。一方、海外市場でのユーロドルは1.05台後半でスタート。スイス中銀のスイス大手銀行に対する支援表明から同行破綻の懸念は一時後退し、ドルが売り戻されユーロドルはじり高で推移し1.0614レベルでNYオープン。朝方はECBが前回会合で予告した通り50bpの利上げを発表したが、今後の金融政策はデータ次第とし、利上げ見通しを示さなかった事からユーロ売りが強まり1.0552まで下落するが、イベントをこなした事からユーロ買い戻しが優勢となり1.0621まで上昇する。その後は先述の米地銀の救済案が発表されるなど、市場全体的にリスクオンとなり、欧州株式市場の上昇に伴いユーロドルもじり高で推移し1.0627まで上昇。午後は明確な材料に欠ける中小幅反落し、結局1.0611レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・木村

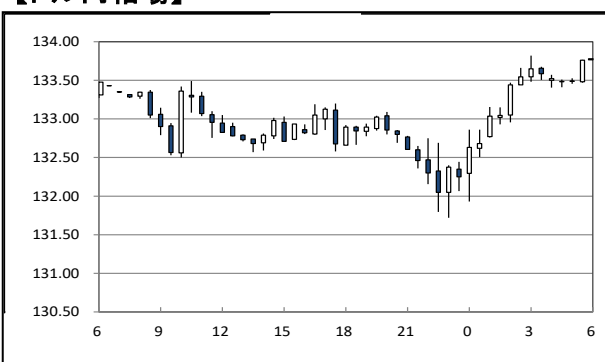
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月16日	08:50	日 貿易収支	2月 -¥897.7b	-¥1150.0b
	09:30	豪 雇用者数変化	2月 64.6k	50.0k
	09:30	豪 失業率	2月 3.5%	3.6%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	1月 -5.3%/-3.1%	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	11-Mar 192k	205k
	21:30	米 住宅着工件数	2月 1450k	1310k
	21:30	米 建設許可件数	2月 1524k	1343k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	3月 -23.2	-15
	22:15	欧 ECB主要政策金利	16-Mar 3.5%	3.5%
	22:15	欧 ECB預金ファシリティ・レート	16-Mar 3.0%	3.0%

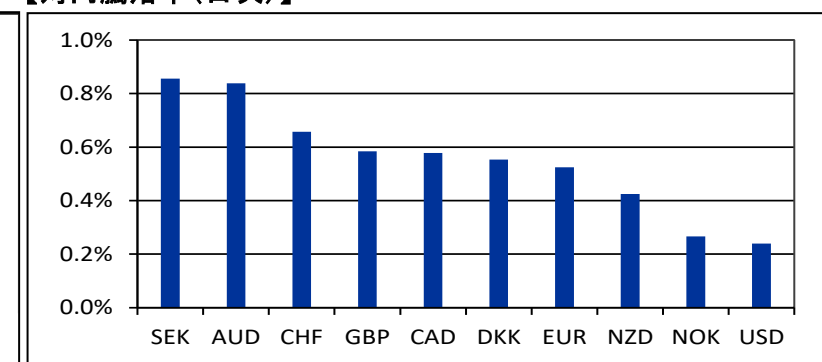
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月17日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	2月 0.8%/8.5%	0.8%/8.6%
	19:00	欧 コアCPI・確報	2月 5.6%	5.6%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	2月 0.2%	0.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	3月 67	67

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.50-134.00	1.0550-1.0700	140.00-142.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、東京時間にスイス大手銀行がスイス中銀から最大500億フランを調達する計画が発表されると133.48まで切り上げ。その後はもみ合う展開となった。海外時間は、金融不安が意識される中、ECBは+50bpの利上げを決定すると、ユーロは大きく下落。米長期金利も低下する中、米国金融不安に関する報道も出てドル円は一時131.72まで下落。その後は、米地銀に対して複数の米銀が金融支援を協議しているとの報道から、米長期金利の反転とともに、ドルの買い戻しが加速し133.78レベルまで戻してクローズした。注目されたECB会合が終わり、市場の注目点は来週のFOMCに移る。昨日は金融システムリスクへの警戒感が後退やイエレン米財務長官の「インフレ抑制がバイデン政権の最優先課題」との発言もあり、+25bpの利上げの織り込みとともにドル高が進んだが、欧米金融不安が意識される中、3月+50bpの利上げを織り込む動きは想定しづらく、本日のドル円は上値の重い動きとなりそう。金融不安を巡るヘッドラインを受けた相場の乱高下には引き続き警戒したい。